



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.6

地域連携病院②

『泌尿器疾患の専門医が365日対応』今回は丁寧な予約制診療と泌尿器科・透析のスペシャリスト揃いで当直も泌尿器科医師という亀井病院をご紹介します。

■本質的な医療サービスに集中

亀井病院は泌尿器科領域の疾患から腎臓病（透析療法を含む）までを取扱う泌尿器科疾患専門病院で、日本泌尿器科学会専門医関連教育施設、日本透析医学会教育施設、日本緩和医療学会認定教育施設でもあります。

泌尿器科・透析のスペシャリストが揃い、当直医も泌尿器科医師で365日対応するという患者さんも夜勤のナースも誰もが安心できる態勢を整え、最新で最適な専門医療を提供しています。

「患者さん一人ひとりに即したプロの丁寧な仕事が目当て。外来はすべて予約制で、話を聞く時間に余裕を持たせ、透析患者さんには穿刺（せんし・体に針を刺すこと）説明から始めるなど、専門家だからこそできる本質的な医療サービスに力を集中しています。」と、神山有史病院長は自負を込めます。

品質管理の国際規格ISO9001の認証や、日本医療機能評価機構の認定する病院機能評価、そして厚生労働省の子育てサポート充実事業所の「くるみん」認定等、常に病院機能の充実をはかり、平成23年夏からは新しい完全電子カルテが本格的に稼働しています。亀井一成事務長はこう語ります。

「設備の充実や継続的な改善の取り組み、患者情報の共有化を目指すカンファレンスの活性化やスタッフの働く環境を向上させることは、医療安全とチ

ーム医療を推し進め、患者さんの受ける医療の質を高めることに結びつきます。」

大学病院との連携では、神山病院長自身が徳島大学医学部出身であり、12名の非常勤医師のうち11名が徳島大学病院からの派遣というように非常に密接です。そうした繋がりも活用して、今後はさらに腎臓内科を充実させ腎臓と関係の深い高血圧、糖尿病と連携させた取り組みを目指しています。

■痛みを和らげる疼痛緩和の受入充実

「痛みというのは本人しか分からないものです。ですから余計に一人ひとりの患者さんとじっくり向き合ってよく話を聞き、トータルに診ていく必要があります。我慢ではなく痛みや辛さを和らげられれば、生活の質が上がり社会生活へと復帰して行けます。とくにがん治療の開始早期からの緩和医療が重要で、当院では術後早期の場合や手術適応のない方などすべての方の受入を進めています。」（神山病院長）

プロとしての責務の最たるものが、患者さんの社会復帰を手助けしていくことだととらえ、コミュニケーションの深化につとめています。

「時にはあえて手を止めて、意識的にじっくりと患者さんの話を聞くことに集中するよう心がけています。」と、病院長、事務長とも異口同音に語る丁寧さが病院の基本理念でした。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



説明は
医療法人尽心会 亀井病院

写真右／病院長・医師

神山有史（こうやまありふみ）

写真左／事務長

亀井一成（かめい いっせい）

■問い合わせ

亀井病院

Tel.088-668-1177(代)

〒770-8070

徳島県徳島市八万町寺山231